**授業づくり研究講座　実践レポート**

**座間市立東中学校　　春川優子**

**単元名　　第一学年　「スピーチ」**

**実践のポイント（工夫）**

**・自分の伝えたい内容を一つに絞り、相手に伝わるような文章構成を考える。**

**実践内容**

|  |
| --- |
| 授業実践日：8月30日（火）～9月2日（金）　3時間構成**スピーチのテーマ：「中学生になって初めての夏休み」**1. 夏休みの思い出をたくさん挙げてプリントに書き出す。（箇条書き）
2. 思い出の中から一つ選び、テーマを決める。
3. 決めたテーマ（思い出）の詳しい内容をたくさん書き出す。（箇条書き）
4. ③をどのような文章構成（順序）でスピーチするのかを考え、番号を振る。
5. ④をもとに文章を書く。
6. スピーチ発表
7. スピーチの自己評価と反省点・今後に生かせるところ

◎テーマを一つに絞ることで、一番伝えたい思い出をスピーチできるようにした。◎相手に伝わるスピーチにするためには、どのような構成で文章を書けばいいのかを考えさせた。（なるべく時間順に文章を書くように指導した。）◎他人のスピーチを聞く際に、話すときの順序がどうなっているのかを考えさせた。（他人のスピーチ順序を参考にし、今後に生かせるように指導した。） |

**振り返り（成果や課題）**

　相手に伝わる文章を書くために、どのような順序で文章を書けばいいのかを考えさせたことによって、時間の流れに沿ってわかりやすい文章を書くことができていた。一方で、文章の流れはよくできていたが、一番伝えたいことが何かが不鮮明になっている生徒がいた。そのため今後は、わかりやすい順序にするためには、一番伝えたい内容がどこにあり、どういった順序で書けばいいのかを考えさせていきたい。

中学一年生でも、基本的な文章の書き方がわかっていない生徒が多くいた。そのため、原稿用紙の書き方についても今後指導していく必要があると感じた。